



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リョーサン

コード番号 8140 URL <http://www.ryosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三松 直人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理本部長

(氏名) 関 晴光

TEL 03-3862-2591

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	157,684	11.9	4,815	49.3	5,376	47.4	3,301	72.7
22年3月期第3四半期	140,903	△22.8	3,225	△47.4	3,648	△48.7	1,911	△53.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	95.79	—
22年3月期第3四半期	55.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	161,023	116,629	72.4	3,380.69
22年3月期	161,593	117,263	72.5	3,398.82

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 116,516百万円 22年3月期 117,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
23年3月期	—	40.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	10.6	6,600	37.9	7,200	35.5	4,200	46.5	121.86

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 34,500,000株 22年3月期 34,500,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 34,671株 22年3月期 34,000株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 34,465,799株 22年3月期3Q 34,466,285株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①全体の概況

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月～12月）の世界経済は、先進国の高失業率、デフレ進行に加え、欧州のソブリンリスク等の構造的な問題が深刻化した反面、BRICsを中心とする新興国や資源国の力強い経済成長が顕著に現れる等、世界経済の構造が大きく変貌いたしました。特にアジア経済の成長は著しく、世界経済における影響力・牽引力は一段と強まりました。しかしながら、年後半になると、主要先進国における設備投資の減速や新興国における在庫調整等から世界経済の成長率が低下してまいりました。また、日本経済は緩やかな回復基調にありましたが、海外経済の減速や急激な円高による輸出の鈍化等、需要・生産が停滞いたしました。

一方、我々が従事しておりますエレクトロニクス業界は、新興国における需要拡大並びに先進国でのデジタル機器需要の持ち直し、スマートフォンやタブレットPC等の立ち上がりによって好調に推移いたしました。特に半導体市場は目覚ましい成長を遂げ、市場規模は過去最高となりました。このような情勢下で、当社グループは売上高の拡大を果たすため、主力である「ルネサスエレクトロニクス事業の拡大」に加えて「海外半導体リソースの事業拡大」「中華圏事業の拡大」を強力に推進すると共に、「収益体質の改善」にも取り組んでまいりました。

その結果、パソコン用DRAMや薄型テレビ用システムLSI等の売上が増加したことから、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,576億84百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益48億15百万円（前年同期比49.3%増）、経常利益53億76百万円（前年同期比47.4%増）、四半期純利益33億1百万円（前年同期比72.7%増）と増収増益になりました。

②セグメントの業績概況

イ. 半導体事業

当社グループでは、メモリ、システムLSI、個別半導体の販売並びにシステムLSIの開発を行っております。当第3四半期連結累計期間は、パソコン用DRAMや薄型テレビ用システムLSI等の売上が増加し、売上高は898億59百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益は34億62百万円（前年同期比55.3%増）となりました。

ロ. 電子部品事業

当社グループでは、表示デバイス、電源、機構部品を販売しております。当第3四半期連結累計期間は、ゲーム機用機構部品やDSC用二次電池等の売上が減少し、売上高は449億91百万円（前年同期比1.6%減）となったものの、営業利益は18億71百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

ハ. 電子機器事業

当社グループでは、システム機器、設備機器を販売しております。当第3四半期連結累計期間は、MFP用システム機器等の売上が減少し、売上高は179億37百万円（前年同期比10.5%減）となったものの、営業利益は5億86百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

ニ. 生産事業

当社グループでは、ヒートシンク（半導体素子用放熱器）を生産し、販売しております。当第3四半期連結累計期間は、FA機器用ヒートシンク等の売上が増加し、売上高は48億95百万円（前年同期比44.5%増）、営業利益は4億35百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5億69百万円減少し、1,610億23百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円減少して1,166億29百万円となり、自己資本比率は72.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて79億7百万円減少し、425億51百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が55億23百万円であったものの、たな卸資産が67億94百万円増加したことや、仕入債務の減少29億80百万円及び法人税等の支払いが22億13百万円あった為、全体で89億5百万円の資金が減少しました。なお、前年同四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは21億35百万円の資金の増加でした。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により1億36百万円の資金が減少しました。なお、前年同四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは5億26百万円の資金の減少でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、外貨建て短期借入金が39億66百万円増加したことにより、配当金の支払い27億57百万円等があったものの、11億3百万円の資金が増加しました。なお、前年同四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは26億96百万円の資金の減少でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後を展望いたしますと、世界経済は先進国の経済成長が景気対策効果の剥落等によって減速することや、新興国の経済成長も先進国への輸出が低調になる影響で低下することが懸念されているものの、引き続き中国を始めとする新興国が牽引しながら回復すると想定されております。

なお、平成22年5月12日に公表した平成23年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で変更はありませんが、今後の業績推移を検証の上、適時開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,553	50,459
受取手形及び売掛金	67,905	67,427
有価証券	9,999	—
商品及び製品	21,004	14,135
仕掛品	101	116
原材料及び貯蔵品	196	196
未収入金	4,796	3,745
未収還付法人税等	12	20
繰延税金資産	227	522
その他	353	341
貸倒引当金	△83	△125
流動資産合計	137,067	136,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,705	4,876
土地	8,131	8,132
リース資産（純額）	242	327
その他（純額）	679	867
有形固定資産合計	13,758	14,203
無形固定資産		
	534	610
投資その他の資産		
投資有価証券	3,241	3,492
長期預金	3,500	3,500
繰延税金資産	1,562	1,597
その他	2,417	2,530
貸倒引当金	△945	△1,093
投資損失引当金	△112	△89
投資その他の資産合計	9,662	9,938
固定資産合計	23,955	24,752
資産合計	161,023	161,593

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,526	33,521
短期借入金	7,715	3,748
リース債務	114	139
未払費用	470	1,104
賞与引当金	309	—
未払法人税等	740	1,219
その他	1,967	1,821
流動負債合計	41,844	41,554
固定負債		
リース債務	185	261
退職給付引当金	2,309	2,236
その他	54	276
固定負債合計	2,548	2,775
負債合計	44,393	44,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	82,777	82,136
自己株式	△85	△83
株主資本合計	119,496	118,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	297	439
繰延ヘッジ損益	△10	7
為替換算調整勘定	△3,267	△2,160
評価・換算差額等合計	△2,980	△1,713
少数株主持分	113	120
純資産合計	116,629	117,263
負債純資産合計	161,023	161,593

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	140,903	157,684
売上原価	128,744	143,389
売上総利益	12,159	14,295
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	442	517
貸倒引当金繰入額	90	—
役員報酬	313	361
給料及び手当	2,367	2,521
賞与	658	892
退職給付費用	323	278
福利厚生費	499	536
減価償却費	623	478
その他	3,614	3,892
販売費及び一般管理費合計	8,933	9,479
営業利益	3,225	4,815
営業外収益		
受取利息	73	80
受取配当金	114	149
為替差益	—	202
経営指導料	87	—
雑収入	248	195
営業外収益合計	522	628
営業外費用		
支払利息	32	57
為替差損	51	—
雑損失	15	9
営業外費用合計	99	67
経常利益	3,648	5,376
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	12	—
貸倒引当金戻入額	—	175
投資損失引当金戻入額	10	—
特別利益合計	25	176
特別損失		
固定資産除売却損	5	6
減損損失	50	—
投資有価証券売却損	14	—
投資有価証券評価損	47	—
投資損失引当金繰入額	—	23
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	122	29
税金等調整前四半期純利益	3,550	5,523
法人税、住民税及び事業税	1,272	1,777
法人税等調整額	363	439
法人税等合計	1,636	2,217
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,305
少数株主利益	2	4
四半期純利益	1,911	3,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,550	5,523
減価償却費	729	585
減損損失	50	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	87	△175
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	77	76
受取利息及び受取配当金	△187	△230
支払利息	32	57
投資有価証券評価損益 (△は益)	47	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,364	△866
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,392	△6,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,810	△2,980
その他	△3,369	△2,054
小計	2,861	△6,855
利息及び配当金の受取額	176	217
利息の支払額	△32	△54
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△870	△2,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,135	△8,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	—
有形固定資産の取得による支出	△615	△125
有形固定資産の売却による収入	4	4
無形固定資産の取得による支出	—	△16
無形固定資産の売却による収入	8	—
投資有価証券の取得による支出	△23	—
投資有価証券の売却による収入	58	—
貸付けによる支出	0	△0
貸付金の回収による収入	41	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△503	3,966
リース債務の返済による支出	△122	△101
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△2,067	△2,757
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	1,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△248	△383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,336	△8,321
現金及び現金同等物の期首残高	50,003	50,458
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	414
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,674	42,551

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	生産事業	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	71,776	45,701	20,038	3,387	140,903	—	140,903
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	71,776	45,701	20,038	3,387	140,903	—	140,903
営 業 利 益	2,229	1,628	545	330	4,734	(1,509)	3,225

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品・製品の名称

(1) 事業区分の方法は、事業体制(組織)を基本とし、取扱商品、製品区分並びに販売形態等を勘案し、区分しております。

(2) 各事業区分の主要な商品・製品の名称

半導体事業 …… メモリ・システムLSI・個別半導体

電子部品事業 …… 表示デバイス・電源・機構部品

電子機器事業 …… システム機器・設備機器

生産事業 …… ヒートシンク(半導体素子用放熱器)

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	103,419	37,484	140,903	—	140,903
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,994	496	6,491	(6,491)	—
計	109,414	37,980	147,395	(6,491)	140,903
営業利益	2,175	797	2,973	252	3,225

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・シンガポール・台湾・中国・マレーシア等

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	ア ジ ア	計
海外売上高	47,765	47,765
連結売上高	—	140,903
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	33.9	33.9

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・韓国・中国・台湾等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、事業セグメント別の財務情報により作成し、最高経営責任者が定期的に業績を評価する対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・製品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品・製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業本部を基礎として、「半導体事業」「電子部品事業」「電子機器事業」及び「生産事業」の4つを報告セグメントとしております。

各事業区分の主要な商品・製品の名称は下記の通りであります。

- 半導体事業……メモリ・システムLSI・個別半導体
- 電子部品事業……表示デバイス・電源・機構部品
- 電子機器事業……システム機器・設備機器
- 生産事業……ヒートシンク(半導体素子用放熱器)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	生産事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	89,859	44,991	17,937	4,895	157,684	—	157,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	89,859	44,991	17,937	4,895	157,684	—	157,684
セグメント利益	3,462	1,871	586	435	6,355	△1,540	4,815

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,540百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は 全 社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	110,560	47,124	157,684	—	157,684
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,931	311	9,242	(9,242)	—
計	119,491	47,435	166,927	(9,242)	157,684
営業利益	3,358	1,341	4,700	115	4,815

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 香港・中国・台湾・タイ・シンガポール等

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位: 百万円)

	ア ジ ア	計
海外売上高	54,247	54,247
連結売上高	—	157,684
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	34.4	34.4

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… 中国・香港・韓国・タイ等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く) であります。